

法人格 有	団体名 ぶうしすてむ	フリガナ カトウ マサユキ	代表者名 加藤 賢幸	団体設立日 平成9年12月1日	法人設立日 平成12年12月19日
活動地域 愛媛県内	正会員	賛助会員	事務局	ボランティア	
主たる活動の種類 保健、医療又は福祉の増進を図る活動	個人	110人	有償	有	有償 有
従たる活動の種類	団体		無償		無償
所在地 〒790-0846 松山市道後北代3-3 愛媛県NPO支援センター貸事務所2号室	単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業 委託事業 助成金
TEL 089-923-5002	18年度	6,202	308	249	2,200 1,067 2,378
FAX 089-906-4222	17年度	8,551	173	9	3,476 1,600 3,293
Eメール staff@busystem.jp	16年度	3,220	230	120	800 1,600 470
ホームページアドレス	http://www.busystem.jp/				

* 下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>障害者がパソコンやインターネットを利用することによる、障害者の社会参加、就労実現を目指し設立されました。</p> <p>1997年 「えひめ視聴覚障害者と友に歩む会」の中で創立 1999年 「えひめ視聴覚障害者と友に歩む会」より独立 2000年9月 NPO（特定非営利活動法人）申請受理 2000年12月 NPO（特定非営利活動法人）として登記</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>課題発見力 13 情報発信力 16 組織育成力 17 事業推進力 22 財源開発力 27</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>
今、力を入れている活動	
<p>1、障害者の就業に関する活動 障害者在宅就業グループの展開 在宅重度障害者の社会参加支援 県内、障害者グループとの連携</p> <p>2、パソコンボランティアに関する活動 障害者のためのパソコン教室開催 パソコンボランティア派遣活動継続及び人員募集</p>	
主な活動実績	
<p>研修事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 定期勉強会 障害者やボランティアを対象に、基本的なパソコンの操作。 特設勉強会 障害者の就業に結びつくと思われるパソコン技術の習得。 リナックス講習会、プログラミング言語講習会など。 <p>在宅支援事業</p> <ol style="list-style-type: none"> パソコンボランティアの派遣（パソコン学習指導、各種設定、その他故障等のメンテナンス。） 障害者在宅就業ネットワークを展開中。 <p>その他 松山市福祉センター祭り・視聴覚福祉センター祭り・NPOまつり・みんなの生活展等のイベントに参加。</p>	

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<p>障害者のパソコンを使った情報生活の支援と就業支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンボランティアの養成と派遣 ・ITを使った障害者就業支援と、在宅就業システムの維持拡大。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の使うパソコン支援機器のノウハウ ・障害者就業についてのノウハウ
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンボランティア関係 パソコン技術支援ボランティア活動の社会的な普及活動。 不足している継続的なボランティアスタッフの募集育成とパソコン支援技術の習得。 パソボラ組織の運営システムの確立。 ・障害者就業関係 パソコンを使った就業技能の養成と仕事のアウトソーシング。 継続している事業の展開と拡大。 経営の安定。 事業のシステム化。 在宅障害者の就業に必要とされるものが知りたい。 	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンボランティア関係 パソコンボランティア活動は障害者高齢者福祉業界ではごく当たり前の活動ですが、一般的に全く知られていないことが多く、IT関連企業従業員の社会的貢献活動の一環として共に活動していただくと企業の広報活動、福祉関連のノウハウ習得に役立つのではないかと思います。またボランティアスタッフ募集のチラシ製作のスポンサーとして協賛していただくことも企業広報活動に役立つのではないかと思います。 ・障害者の就業支援 法人、団体、公的機関との協働で問題の解決を図る (行政、施設、ハローワーク、リハビリ病院、NPOなどを含む就業支援組織を構築) 事業における協同組合的なもの (就労支援に取り組んでいる施設団体が手を組み、ノウハウを出し合い助け合うシステム。 個別で行うよりも広がりが必要。) 	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力		合計:	13
◆様々な手法による課題・ニーズの把握			
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。			2
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。			1
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。			2
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。			1
◆課題・ニーズを把握するための環境			
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。			1
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。			2
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。			2
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。			2
2. 広報を活かす力		合計:	16
◆様々な手法による広報活動			
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。			3
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。			1
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。			3
◆広報の対象についての調査、活用			
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。			3
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。			1
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。			2
◆広報結果の調査、整理			
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。			2
◆広報活動の環境			
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。			1
3. 組織を育てる力		合計:	17
◆人材の受け入れ、育成			
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。			3
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。			2
◆組織全体で進める体制			
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。			2
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。			3

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 2 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 1 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 2 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 2 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 22

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 4 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 3 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 2 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 2 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 2 |

5. 財源を生み出す力 合計: 27

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 3 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 3 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 4 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 4 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 4 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 2 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 4 |
|--------------------------------------|---|